

普通科目（国語表現Ⅱ）の学習指導案 17No2

1. 指導目標

（１）創作活動を通じ、豊かな表現力を身に付けさせる。

（２）物語を創作させることを通じて、自分自身を見つめさせる。

2. 指導項目・内容

	指導項目・内容	時間（分）	指導上の留意点
導 入	・これまでに自分で飼ったことのあるペットについて発表させる。 ・短い小説を創作する課題を説明する	10	・本時の目標を明確にさせる。 ・「我輩は猫である」を例にして説明する。
展 開	・構想メモを作成し、小説の展開を考えさせる。（ペットの目から、飼い主である自分自身を観察させる）	15	・ペットを一つ選ばせ、そのペットの目から、自分自身の日常の行動を振り返えらせ、鋭く観察させる。 ・小説の主題を考えさせる。
	・叙述を工夫して、実際に短い小説を執筆させる。 ・自分で音読したりして推敲させる。 ・数名に作品を発表させる。 ・著作権が発生したことを説明する。	50 15	・下書きの文字は乱れてもよいから、大らかで豊かに発想・創作させる。 ・何度も繰り返し読ませ、推敲させる。 ・著作権がいつ切れるかについても説明をする。
整 理	・発表された作品を評価する。 ・次時の予告をする。 ・評価するため全員の作品を集める。	10	・批判は一切させない。 ・評価の規準を説明する。
備 考	「国語表現Ⅱ」〈三省堂〉P67～P82「体験から物語へ「創作」」 小説「我輩は猫である」夏目漱石		